

斎 場

斎場は人生終焉の場であり、遺族にとっては必要欠くことのできない施設であることから、遺族が少しでも潤いと安らぎを感じる施設として健全な施設の管理運営に努めている。

近年は、火葬件数の増加に伴い火葬炉等の補修額が増大していること、また、施設においては利用人数の増加に十分に対応できる機能の確保が課題となっている。加えて、今後想定される南海トラフ地震への対応の準備も求められている。

これらのことから、平成26年度に斎場整備方針を検討し「斎場整備基本構想」を策定した。この基本構想の内容を基にして、27年度に「斎場基本計画」を策定し、28年度に実施設計を作成、29年度から火葬炉更新工事に着手し、30年度末に更新工事を完了したため、今後は施設の増改修工事を進めていく。



1 概 要

所在地	幸崎75
敷地面積	31,260㎡
施設内容	式場棟 914.50㎡ 式場3室（100人用1室、50人用1室、20人用1室） 火葬棟 1,523.19 火葬炉10基（大型炉10基）、胞衣炉1基、 告別室、収骨室、炉室、霊安室、事務室、その他 待合棟 808.65 待合室5室、ロビー、売店、その他
対象人口	400,000人
全面供用開始	平成2年4月1日
総事業費	30億5,925万7,000円
職員数	10人

2 使用料

(1) 火葬場使用料

(20.4.1適用)

種 別	単 位	使 用 料		備 考
		市 内	市 外	
大人（13歳以上の者）	1 遺 体	20,000円	70,000円	30年度使用料収入(式場使用料含む) 1億4,265万9,510円 1個は10kg以内とする
小人（13歳未満の者）	〃	12,000	42,000	
死 産 児	1 胎 児	10,000	35,000	
手 術 肢 体	1 人につき	10,000	35,000	
胞 衣 等	1 個につき	3,500	12,250	

(注) 死亡の際、本市において公的扶助を受けていた者のために使用するとき
大人14,000円 小人8,000円 死産児7,000円

(2) 式場等使用料

(2.4.1適用)

種 別	単 位	使 用 料		超 過 料 金 (超過1時間ごとに)		
		市 内	市 外	市 内	市 外	
式 場	大 100人収容	1 回 (4時間以内)	42,000円	95,000円	—	—
	中 50人収容		28,000	63,000		
	小 20人収容		11,000	25,000		
控 室	大・中通夜	1 回 (17:00～翌日9:00)	19,000	44,000	1,300円	3,000円
	小通夜		15,000	34,000	1,000	2,300
	待合室	1 回 (2時間以内)	2,600	6,000	1,300	3,000
	霊安室	1 遺体 (24時間以内)	2,600	6,000	110	250

3 使用状況

(1) 火葬場使用状況

年度	市内居住者						市外居住者						計
	大人	小人	死産児	手術肢体	胞衣等	小計	大人	小人	死産児	手術肢体	胞衣等	小計	
28	3,587	7	48	35	66	3,743	762	3	14	16	0	795	4,538
29	3,708	8	64	34	69	3,883	665	0	11	21	0	697	4,580
30	3,484	11	50	40	75	3,660	593	1	17	16	0	627	4,287

(2) 式場等使用状況

年度	式場			控室 (通夜)		待合室	霊安室
	大	中	小	大・中	小		
28	119	190	162	276	142	2,185	383
29	139	221	170	306	124	2,220	387
30	139	202	198	303	154	2,024	399